

vol.10

2010
夏号

松下記念病院



診療科
見学note

消化器科部

Closeup
お仕事

内視鏡技師の紹介

特集

救急体制

～万全の体制で緊急時に備えます～

- news
新入医師の紹介
- 医学カンタン講座
脂質異常症(高脂血症)のお話
- 健康コラム vol.1
食中毒予防のための衛生管理
- 体に優しい美味しい献立
ゴーヤとトマトのカレーチャンプル

すべての消化器疾患において最新・最善の治療を
迅速・安全に提供する — はやい（迅速）、上手い（最新・最善）、
安い（安全） — をめざしています。

診療方針

消化器疾患の診断・治療方針は外科医、放射線科医、病理医など複数の診療科の医師と十分にカンファレンスを行ったうえで決定します。また救急疾患に対してはコメディカルスタッフと協力して迅速に治療を進めていきます。すなわちチーム医療を診療の基本としています。



山西
磯崎

沖田
小山田

山口
長尾

宇都宮
松本

代表的な疾患と治療方針

内視鏡治療

- 食道、胃、大腸のポリープや早期がんに対しては積極的に内視鏡治療を行っています。特に最新の治療である「内視鏡的粘膜下層剥離術」も早期胃がんを中心に積極的に行っています。
- 胃や十二指腸潰瘍からの出血、食道静脈瘤破裂による出血に対しては夜間でも緊急内視鏡を施行し迅速に止血処置を行います。潰瘍の原因といわれるピロリ菌が陽性の場合は後日除菌治療を行います。
- 胆管にできた結石や膵臓がん・胆管がんなどで胆管閉塞による黄疸をきたした場合は、内視鏡を用いて結石を取り除いたり、胆管の中にチューブ（ステント）を挿入して閉塞を解除します。
- 脳血管障害や認知症のため経口摂取が十分できない症例には、栄養補給のルートとして内視鏡的胃瘻造設術を行っています。

スタッフ紹介

おやまだ ひろかず
副院長 **小山田 裕一**

日本消化器病学会指導医
日本消化器内視鏡学会指導医
日本臨床腫瘍学会指導医

ながお やすゆき
副部長 **長尾 泰孝**

日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本肝臓学会専門医

いそぎき ゆたか
主任 **磯崎 豊**

日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

まつもと なおゆき
主任 **松本 尚之**

日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

おきた みか
主任 **沖田 美香**

日本肝臓学会専門医

やまぐち しゅんすけ
医師 **山口 俊介**

うつのみや さかえ
医師 **宇都宮 栄**

やまし まさよし
医師 **山西 正芳**

■ 手術適応のない進行がんの治療

- 点滴あるいは飲み薬による抗がん剤治療を行います。できるだけ外来通院で治療を受けられるよう外来化学療法室を整備しています。
- 放射線治療の適応になる疾患については、2009年12月に導入した最新の高精度放射線治療装置 (Novalis Tx) を用いて放射線科医と共同で治療にあたっています。

■ 炎症性腸疾患の治療

- 潰瘍性大腸炎やクローン病に代表される炎症性腸疾患に対しては、内服薬による治療だけでなく、抗TNF- α 抗体 (レミケード) 治療や腎不全科の協力のもと、透析室で白血球除去療法も行っています。

■ 慢性肝疾患の治療

- B型やC型のウイルス性肝炎に対しては、インターフェロン治療や抗ウイルス剤の治療を積極的に行っています。
- 肝臓がんに対しては、「がん」に電極を挿入してラジオ波で焼く局所治療 (ラジオ波焼灼術) や放射線科医と協力して「がん」を栄養する動脈から抗がん剤と塞栓剤を注入するカテーテル治療 (肝動注塞栓療法) を行っています。

主な治療成績 (2009年度)

早期胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術	26件
内視鏡的大腸ポリープ切除術	223件
消化管出血に対する内視鏡的止血術	97件
内視鏡的総胆管結石除去術	64件
閉塞性黄疸に対する内視鏡的胆管ステント術	78件
肝がんに対する肝動注塞栓療法	52件
肝がんに対するラジオ波焼灼術	5件
夜間などの緊急内視鏡検査	126件

認定施設

- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本臨床腫瘍学会認定施設

最新の検査機器



■ ダブルバルーン内視鏡 小腸用カプセル内視鏡

小腸は口からも肛門からも距離があり、しかも非常に長い臓器であるため内視鏡検査が困難でした。当院ではダブルバルーン内視鏡とカプセル内視鏡を導入することにより小腸の内視鏡診断・治療が可能となりました。

■ 経鼻内視鏡 (鼻からカメラ)

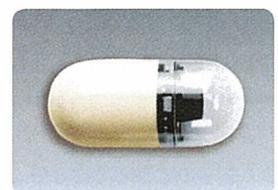
より苦痛の少ない内視鏡検査として経鼻内視鏡を導入しました。



ダブルバルーン内視鏡



カプセル内視鏡画像診断システム



小腸用カプセル内視鏡 (実物大)

Cirseup お仕事

内視鏡技師(消化器内視鏡技師)の紹介

消化器内視鏡専門医と消化器内視鏡技師の専門スタッフが、患者さまに負担の少ない、最新・最高の内視鏡検査・治療を提供します。



茶屋(助手) 中藤(事務)
和田(看護師) 良田(看護師) 藪内(看護師)
内視鏡技師の資格をもっている看護師です。

内視鏡室について

内視鏡室では消化器科の医師と看護師3名(*内視鏡技師)、看護助手1名、事務員1名の体制で消化管内視鏡検査業務を行っています。午前は主に上部消化管内視鏡検査を行っており、午後は、超音波内視鏡検査や内視鏡的粘膜下層剥離術、食道静脈瘤結紮術、大腸ポリペクトミーなどの特殊な検査や内視鏡を用いた治療を行っています。

*内視鏡技師(消化器内視鏡技師)とは・・・

(社)日本消化器内視鏡学会により認定された内視鏡検査・治療の介助技術者の事で、主に看護師が消化器内視鏡業務に携わり、一定の経験や講習会を受講し、試験に合格して得られる資格です。また当院は日本消化器内視鏡学会の指導施設として認定を受けています。

内視鏡技師の主な仕事

1. 処置介助業務について

私たちは内視鏡検査や処置を受けられる患者さまの不安や、苦痛を少しでも軽減できるように努めています。安全に検査ができるようカメラの準備をし、医師の指示のもと器具の操作や画像機器の管理をします。また摘出された検体を病理検査に提出できるよう処理します。

2. 安全管理業務について

検査に使用している処置具のほとんどは Disposable(使い捨て)です。内視鏡機器(カメラなど)は1検査1患者さまごとに必ず器械で洗浄しています。洗浄・消毒には、ガイドラインで奨められている高水準の消毒薬を使用しており、感染防止の面からも安全に安心して検査・治療を受けていただけます。



(内視鏡検査の介助)



(内視鏡点検)



(内視鏡洗浄器)



(洗浄作業)

最後に

内視鏡技師として、専門的知識・技術を生かし、治療に使用する機械や処置具の選定やメンテナンス、処置介助を行っています。

体制

「救急医療体制を充実しました」

- 松下記念病院は、2009年11月30日大阪府より「地域医療支援病院」の承認を受けました。その承認要件のひとつに地域の皆さまに対する救急医療の提供があります。これまで、夜間や休日などに急に体調が悪くなった患者さまに対する**内科系救急診療**を行ってききましたが、2010年2月より外傷や重症患者さんにも対応できるように**外科系救急診療**を開始しました。
- 以前より、救急診療は「とりあえず命が助かればよい」、「専門外の非常勤当直医による診療」「時間外だから十分な検査ができない」等、様々な問題点が指摘されました。
また、最近では医師不足・疲弊により救急診療から撤退する医療機関が続出し、社会問題となっています。
- 松下記念病院では、質のよい救急医療を提供しようと考えています。それは、365日24時間すみやかに必要な検査が可能で、迅速に専門医による治療を受けていただくことです。そのため、常勤医師である、内科系当直医、外科系当直医、病棟当直医、集中治療室当直医、産科当直医、小児科医（土日のみ）が診療を行います。そして、必要に応じて全診療科の専門医がオンコール体制により連絡可能となりました。
また、全身CT、MRI等の検査も速やかに行うことができ、内視鏡室、血管撮影室、手術室、集中治療室も常時使用可能なため、消化管出血、心筋梗塞、脳卒中等にも対応することができます。

救急室の設備



救急室

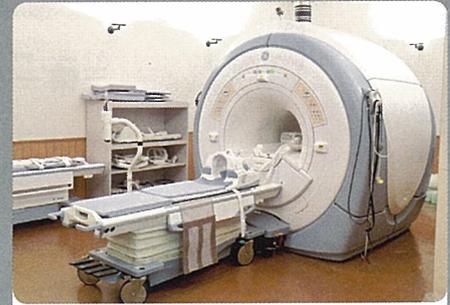


救急隊直通電話

ただ、最近では満床のためご希望に沿うことができずご迷惑をおかけしますが、常にお受けできるよう体制の整備に努めていく次第です。そしてこれまで以上に地域の皆さんによりよい医療を提供していこうと考えています。

救急医療対策委員会 委員長

救急医療の提供



MRI装置 磁気共鳴画像診断装置ともいわれ、強磁場によって生体の断層像を得る装置です。



血管撮影室 頭部、腹部および四肢それぞれの部位で血管造影診断や経血管内治療（IVR）が行われています。



手術室

24時間緊急手術に対応しています。



集中治療室 ICUともいわれ、24時間連続監視のもと迅速な救急処置や高度医療を提供する病院内施設の区域です。



糖尿病・内分泌科部

みつほし かずてる
三橋 一輝

糖尿病が薬や手術などにより一発で完治するという時代は残念ながらまだ先ようです。地道に調整を続けておられる患者さまの力の一部として診療を行いたく思います。よろしくお願いいたします。



呼吸器科部

かどや まさとし
角谷 昌俊

日本内科学会認定内科医

主任

患者さまに寄り添い、共に病気に立ち向かい、そして乗り越えられるようお力添えをさせていただきます。よろしくお願いいたします。



呼吸器科部

かさまつ ゆう
笠松 悠

日本内科学会認定内科医
日本医師会認定産業医

患者さまそれぞれのニーズや状態に応じて、エビデンスに基づいた最適な医療を提供できるように心がけています。よろしくお願いいたします。



消化器科部

やまにし まさよし
山西 正芳

未熟なところもあると思いますがこれから消化器科部の一員として精一杯がんばっていきたくと思っています。よろしくお願いいたします。



整形外科部

まえだ こうさぶろう
前田 耕三郎

整形外科専門医
脊椎脊髄病医認定医

リハビリ
テーション室
副室長

主にリハビリテーションを担当します。少しでも患者さまのお役に立てるよう精一杯がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。



小児科部

かなやま たくよ
金山 拓誉
小児科専門医

将来のある子供たちの健やかな成長の一助となれるようがんばりたいと思います。



産婦人科部

せきおか ゆきこ
関岡 佑輝子

できるだけ丁寧な診療を心がけたいと思っています。よろしくお願いいたします。



眼科部

いのうえ ちづる
井上 千鶴

患者さまの立場にたって考え、よりよい医療を提供していきたいです。よろしくお願いいたします。



耳鼻咽喉科部

やまみち れい
山道 怜

耳鼻科医としてはまだ発展途上ですが、患者さまの立場に立った最良の医療ができるよう努力します。



麻酔科部

はっとり かつお
服部 一生

患者さまは手術、麻酔等に関して、少なからず不安、心配等を抱えておられるかと思っています。そんな不安心配に対して、少しでもやわらげられるような患者さまに優しい麻酔を心がけています。



麻酔科部

きど はるき
城戸 晴規

きちんと麻酔計画を立て、術後管理を含めた麻酔を行います。



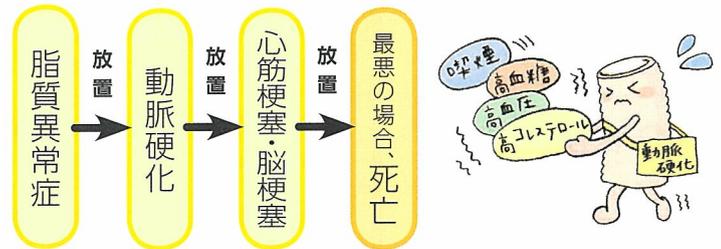
中央放射線部

やまだ さちみ
山田 幸美

放射線部ではレントゲン、マンモグラフィ、CT、MRI 検査だけではなくカテーテルを用いた治療やPET-CT等の放射線治療など様々な医療を提供しています。わからない事がある方は気軽にお問い合わせください。

脂質異常症(高脂血症)のお話

脂 質異常症は生活習慣病のひとつで、血液中の脂肪(コレステロールや中性脂肪)が基準値から外れている状態を言います。増えた脂質はどんどん血管の内側にたまり、動脈硬化が進行していきます。しかし、動脈硬化は自覚症状がなく、心筋梗塞や脳梗塞の発作が起きて、やっと脂質異常症の重大さに気づくのです。



脂質異常症の原因

遺 伝子異常や他の病気に伴って現れるものもありますが、8割以上は過食、高脂肪食、運動不足などの悪い生活習慣や、それによる肥満が原因です。食事からんだ要因が多く、予防には、食生活を適正に保つことが重要です。

2種類のコレステロールと中性脂肪に注目

LDL (悪玉) コレステロール

多過ぎると、動脈壁に溜り動脈が厚く硬くなります(動脈硬化)。

HDL (善玉) コレステロール

動脈や細胞内の余分なコレステロールを回収し、肝臓に戻す役割があります。

中性脂肪

高くなるとHDLコレステロールが減りLDLコレステロールが増えやすくなるので、間接的に動脈硬化の原因となります。

動脈硬化疾患予防ガイドライン

- 高LDLコレステロール血症 …… LDLコレステロールが**140mg/dL**以上
- 低HDLコレステロール血症 …… HDLコレステロールが**40mg/dL**未満
- 高中性脂肪血症 …………… 中性脂肪が**150mg/dL**以上
(空腹時採血の検査結果で評価します。)

年に1度は健康診断を

症状のない脂質異常症は、**検査で見つけるしかありません**

厚生労働省発表の「平成18年 国民健康・栄養調査の概要」によると、「脂質異常症が疑われる人」は約1,410万人でした。しかし、動脈硬化疾患予防ガイドラインの基準である、中性脂肪、LDLコレステロール、HDLコレステロールを用いた判定では、「脂質異常症が疑われる人」は約4,220万人でした。脂質異常症は、早く見つけて早く対処することが重要です。しかし、初期には自覚症状がないので、1年に1回の定期的な健康診断を受けましょう。脂質異常症の検査は、普通に行われる健康診断で必ず行います。

脂質異常症の治療

治療の基本は生活習慣の改善(とくに食事)と薬物療法です。治療の内容は人によって違います。主治医や栄養士とよく相談しながら、治療を進めていくことが大切です。

食中毒予防のための衛生管理

食中毒予防の三原則は、食中毒菌を『**付けない（清潔）**・**増やさない（迅速・冷却）**・**やっつける（加熱）**』です。食中毒は夏に発生するイメージがあるかもしれませんが、1年を通じて発生します。生ものの取り扱いだけでなく、調理器具や手の汚染などさまざまなことが原因となり食中毒をおこす可能性があります。

家庭で出来る食中毒予防のポイント



① 買い物は	<ul style="list-style-type: none"> ● 新鮮なものを選ぶ。消費期限を確認して購入する。 ● 肉汁や魚の水分が漏れない様ビニール袋にそれぞれ分けて持ち帰る。
② 保存する時は	<ul style="list-style-type: none"> ● 持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫で保存する。 (冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下が目安ですが、菌が死滅するわけではないので早めに使い切る)
③ 料理する前に	<ul style="list-style-type: none"> ● 手を洗い、きれいな調理器具を使うこと。包丁やまな板は、魚や肉を切った後に熱湯で洗う(できれば肉用・魚用・野菜用と別々にすると安全)など。
④ 調理する時は	<ul style="list-style-type: none"> ● タオルやふきんは乾いた清潔なものに交換し、手を洗う。十分に加熱をする(中心温度75℃以上1分)。電子レンジはレンジ用容器で、熱のつたわりにくいものは時々かき混ぜるなど。
⑤ 食事をする時は	<ul style="list-style-type: none"> ● 手を洗う。 ● 室温に長く放置しないなど。
⑥ 残った食品は	<ul style="list-style-type: none"> ● 残った食品を扱うときにも手を洗い、きれいな容器で保存し、再加熱するなど。

体に優しい 美味しい献立



夏バテ防止に
いかがですか？

「ゴーヤとトマトのカレーチャンプル」

豚肉はビタミンB1が多く疲労回復に効果的です。またゴーヤ(にがうり)のビタミンCは食欲増進にも役立ちます。



ひとりあたりのエネルギー量
176kcal [たんぱく質11.2g、脂質10.4g、炭水化物7.1g、塩分0.4g]

【材料・1人分】

- ゴーヤ…50g ● たまねぎ…30g
 - 豚薄切り肉…30g ● 厚揚げ…35g
 - トマト…1/2個 ● サラダ油…大さじ1/4
 - カレー粉…小さじ1/2
- A
- 酒…大さじ1/2
 - 水…大さじ1/2
 - コンソメ顆粒…小さじ1/4
 - 生姜(絞り汁)…小さじ1/4

【つくり方】

- ① ゴーヤは縦半分になり、白いわたと種を取り除き薄切り(5mm位)、たまねぎも薄切りしておく。
- ② 厚揚げは湯通しをして2cmの角切り、豚肉は食べやすい大きさに切っておく。
- ③ トマトは一口大(または、くし切り)に切っておく。
- ④ フライパンに油を熱し、豚肉、たまねぎ、ゴーヤ、厚揚げの順に炒め、カレー粉を入れます。
- ⑤ ④にAのあわせ調味料、③のトマトを加えて軽く炒める。



POINT!!

ゴーヤチャンプルは、良質のたんぱく質とビタミンが摂取でき栄養バランスもとれ、夏バテ予防に最適です。また厚揚げの代わりに木綿豆腐に変えると脂質を減らせて、卵を加えるとたんぱく質のアップもできます。